



まじめに営業し生活している地権者を 強制的に追い出す新町西再開発・白紙撤回を

三月議会の建設委員会で、新町西再開発に反対している地元地権者の問題で質疑 この新町西再開発は「まじめに営業し生活している地権者を強制的に追い出す事業」であることが、改めて鮮明になりました。こんな「市民の暮らしや営業を壊す新町西再開発」は、白紙撤回するしかありません。

新町西再開発は第一種再開発

三分の二同意で強制執行できる

「昔前の「地上げ屋」」

新町西再開発は第一種再開発事業
地権者の三分の二（六十七％）が
同意すれば強制執行できる事業で
す。

「昔前は「地上げ屋」が暴力的に
立ち退かせていたんですが、今は
「法を盾」に同意しない地権者を強
制的に立ち退かせることができる
それが新町西再開発の第一種再開発
事業です。

「全員同意型の再開発」など、強制
執行を伴わない再開発がある中で、
新町西再開発が選んだ手法は第一種
再開発 まじめに営業し生活してい
る地権者を強制的に追い出す「最悪
の手法」です。

三分の二（六十七％）を

はるかに超える新町西が

再開発区域に選ばれた

新町西再開発の地元地権者は五十
四人 私の質問に対し、「その内約
八割（八十％）が最初から（事業推

進の）準備組合を作っており、そ
の数は現在も同じくらい」と答弁
しました。準備組合は任意加入な
ので、この事業に「反対」したり、
「納得できない」としている地権者
は加入していません。

約八十％は、強制執行できる六
十七％をはるかに超える数なん
ですが、要は、「新町西地区で、まじ
めに営業し生活している地権者」
を「強制的に追い出せる地区が選
ばれた」それが新町西再開発の
実相です。

ちなみに 準備組合
に加入している地権者
で、「新町西地区に残っ
て営業を続ける 生活
する」と表明している
方は「わずか」しかありません。

徳島市が市民の税金を使って

最大地権者になり、

再開発推進の旗振り役

「市民の税金一億円で生命保険
ビル（新町橋交番の隣）を買収」し
て最大の地権者にのし上がった徳



島市が先頭に
立つて、推進の旗
振り役」を務めて
いるのが新町西
再開発の「実相」
です。



それを「地元組
合を応援するの
が徳島市」などと「第三者をよそ
う」ながら、議会にも市民にも知
らず「事業者は竹中工務店」に決
めるなど、「準備組合を隠れ蓑」に、「間
の中」で事業を推進しています。

「同意しない」地権者が

少しづつ増えてきています

大もうけするセネコン（竹中工務
店）と、そのセネコンに全面協力し、
推進の旗を振る原徳島市政 「甘
言」を弄して地権者に「同意」を迫っ
ていますが、「反対」する地権者に加
え、「同意しない」という地権者が、
少しづつ増えていきます。

地権者の方々の中に「反対する地
権者の会」（代表 記井氏）と「地権
者の権利と財産を守る会」（代表
新居氏）が結成され、「地権者の方々
に同意しないよう」求めて また準
備組合に対して「地権者全員が同意
するまで、徳島市に同意申請を出さ
ないよう」求めて、今、懸命な活動
を展開しています。

反対する地権者の「生の声」(再掲)

私は建設委員会で「幾人もの地権者が、再開発に反対したり、同意しないという声を上げている。みんな新町西地区で、まじめに営業し生活している方々ばかりだ。こうした方々を強制的に追い出す「やり方」は絶対にすべきではない。徳島市はこんな理不尽なことに手を貸すべきではない」と追及しました。この地権者の方々が上げておられる「生の声」を、もう一度紹介しておきます。

正直に真面目に生活し

営業しているのに なぜ追い出すのか

私は、新町西再開発の開発区域から「私の店」を除外するよう、終始一貫して求めている地権者の一人です。創業して三十二年、この地に新築して十周年を迎えました。他店が八時間働けば自分は十時間働き、他店が十時間働けば十二時間働く、というように、創業して最初の十年間は

1さんのように除外を求め るが、拒否し続ける原市政

「再開発に反対する地権者」は、Iさんのように新町西再開発の計画区域から除外してほしい(六家族)と原市長に申し入れていますが、「拒否」し続けられたまま、「Iさんだけが、なぜ特別扱いなのか?」と怒りの声がたくさん挙がっています。

無休で営業してきました。また店舗建物についても、建設業者とアメリカまで足を延ばして構想を立て、現地で部材を輸入し建築しました。ソフト面でも、他店と違った個性でやってきました。このように、自分自身で「こだわりの経営」をしてきました。

この地に居を構え、店を構えて、家族一丸となって生計を立て、子や孫まで、将来を見据えた計画で努力してきました。周りの誰にも迷惑や損害を与えたこともなく、正直に真面目に生活し、営業活動し、むしろ地域に貢献していると自負しております。家族が幸せに暮らしているのに、なぜ、この計画に取り込ま

れないかならないのか? 今まで一生懸命築き上げて



きた生活権、営業権、財産権が侵害されることは許されるべきではなく、また、精神的に受けるストレスには耐え難いものがあります。この地が気に入って、愛着があり、ここで生活を成り立たせています。この開発区域に組み込まれることを拒否していますが、ここを動かなければ、組合や徳島市は私たちを、村八分のように追い出すのでしょうか?



一生懸命頑張り守った

土地と創業百年の店

再開発には絶対反対

私は亡き父母に、一生懸命頑張り守った土地と創業百年の店を託された再開発事業予定地の地権者です。再開発には当初から絶対反対の立場です。再開発には問題点が多く、賛同できない絶対的な理由がない。どんなにいい条件を示



されても同意しない。地権者は再開発賛成者だけでなく、当初から絶対反対の者も、私を含めてかなりいます(徳島新聞の「読者の手紙」より)

三代にわたって商売

再開発区域から除いて
私は三代にわたって、戦前より新町西一丁目目で商売を営んでおります。

この度の新町西再開発は、音芸ホールが目的で、再開発の大切な目的の集客力はないと思われま。中途半端な商店街をつくっても、今の時代、高い家賃を払い、従業員の給料を払い、高い共益費や電気代を払って、やっていける商売はありません。



この度の再開発は賛成者だけである、という説明でしたが、反対している我々も、再開発区域に組み込まれております。除いてほしいのです。今はどうか生活できておりますが、この計画では、すぐ破綻するのは目に見えております。一体誰が責任をとってくれるのでしょうか? もう一度、よくお考え頂き、計画を中止して下さい。